

**問** 現在市役所ロビーにおいて使用済みの乾電池を回収されており、非常にいい取り



丸岡弘満 議員  
(東風会)

**リサイクルについて**

近年従業員を採用しても離職率が高く、とりわけ技術者については非常に貴重な存在で、加西市では衣食住の充実が必要と言われています。例えば教育、住環境、医療、交通等の充実で、教育においては学校に不便が生じれば生活が続かない、住環境では環境がよくても農村の場合はマンネリ化してしまう、また加西市にはホテルがなく、ビジネス環境としては不便といった指摘をいただいています。従業員の生活環境整備の充実についての支援要請のみならず、加西市全体のレベルアップが求められていると認識しています。すべてを行政が行うのは、非常に難しいと思いますので、民間活力をうまく導入しながら、ニーズに対応したいと考えています。



三宅利弘 議員  
(21 政会)

**高齢者福祉、介護予防事業について**

**問** 組みだと思いが、入れ歯やメガネの回収はどうか。全国の自治体財政が厳しい中、ボックスを設置して、要らない入れ歯を回収し収益を得る、だれもが損をしない取り組み。神奈川県綾瀬市では全国初のマッチングギフト方式を導入し、得た収益と同額を市費から支出、運用して、市民活動推進基金に繰り入れている。市民活動を後押しするすばらしい運用の仕方であると思うがどうか。

**答** 現在、レアメタルの回収については、調査研究しており、今後再資源化に取り組んでいる加西市としても、入れ歯やメガネ等の回収についても衛生面等、今後先進地の様子を聞きながら、研究したいと思います。マッチングギフト方式についても、調査研究したいと思います。

**問** 少子高齢化の進む中、加西市のほぼ4人に1人が65歳以上。3年もすれば団塊の世代が65歳以上となり、ますます高齢者に拍車がかかる。それだけに高齢者福祉、介護保険事業、介護予防事業をより充実させていく必要があると考えるが、介護予防事業への取り組みについて、どのような事業を展開し、どのような成果をあげているのか。

**答** 介護予防事業の取り組みは、一般高齢者を対象とした事業として、介護予防教室、こつこつ転倒予防教室、高齢者健康教室、介護予防リーダー養成講座等を実施し、要介護状態となる恐れが高い特定高齢者を対象とした事業として、特定高齢者介護予防教室事業、おたっしや・ゆめ・倶楽部、特定高齢者介護予防通所サービス、訪問型介護予防事業を実施しており、介護予防の知識習得や介護予防体操等を取り入れることで、介護予防への意識づけを図り、普及啓発に努めています。おたっしや・ゆめ・倶楽部では、参加者の74%が維持、改善したというふうにご回答しており、一定の成

**健全財政について**



繁田 基 議員  
(公明党)

果が出ていると考えています。

**問** 昨年からの税の徴収について徴収員が収納課に配置されているが、現在の国保税や市民税の滞納額は、前年度比で増えたのか減ったのか。また不納欠損額についても前年度と対比して増えたのか減ったのか。

**答** 平成20年度の滞納繰越の状況は、市税は現年分が1億2,773万2,862円、滞納分が3億4,483万4,143円の合計4億7,256万7,005円です。前年度より5%の増、額にして2,265万4,909円の増となっております。収納率については、現年分は98.1%で対前年度比0.2%の減、過年度分は18.3%で対前年度比1.3%の増となっております。国民健康保険税の滞納繰越は、現年分が8,039万1,528円、滞納分が3億8,802万8,536

**問** 地方自治法で普通地方公共団体の現金の出納は、毎月例日を定めて、監査委員が検査しなければならないというた



高見 忍 議員  
(21 政会)

**監査業務について**

円の合計4億6,842万64円です。平成20年度の不納欠損の状況は、市税では2,031万5,684円、人数にして186名、対前年度比39.3万579円の増、60名の増となっております。増加した要因については、景気の後退、雇用情勢の悪化による生活困窮者の増、大口倒産、所在不明等が主な原因となっております。国民健康保険税については1,192万8,191円で64名です。対前年度比72万7,048円の増、7名の増となっております。不納欠損については、5年の時効が完成するが、執行停止後3年を経過し、租税権の消滅したものと及び即事消滅したものについて不納欠損として処理しています。